

## 令和7年度大学入学共通テスト

### 試作問題「公民」の概要

1. 試作問題『公共，倫理』の概要
2. 試作問題『公共，政治・経済』の概要
3. 試作問題『地理総合，歴史総合，公共』の概要

# 1. 試作問題『公共，倫理』の概要

## (1) 問題構成

試作問題『公共，倫理』は，以下の構成で作成している。

問題番号	出題内容（平成 30 年告示高等学校学習指導要領との対応）	配点
第 1 問 ※ 1	【公共】 「A 公共の扉」の「(1)公共的な空間を作る私たち」及び「B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち」のうち「主として法に関わる事項」に対応したものである。	13
第 2 問 ※ 2	【公共】 「A 公共の扉」，「B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち」及び「C 持続可能な社会づくりの主体となる私たち」に対応したものである。	12
第 3 問	【倫理】 「A 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方」の「(1)人間としての在り方生き方の自覚」における「人生観」や「世界観」に対応したものである。	28
第 4 問	【倫理】 「A 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方」の「(2)国際社会に生きる日本人としての自覚」に対応したものである。	15
第 5 問	【倫理】 「B 現代の諸課題と倫理」の「(1)自然や科学技術に関わる諸課題と倫理」及び「A 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方」の「(1)人間としての在り方生き方の自覚」における「人間の心の在り方」に対応したものである。	16
第 6 問	【倫理】 「B 現代の諸課題と倫理」の「(2)社会と文化に関わる諸課題と倫理」及び「A 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方」の「(1)人間としての在り方生き方の自覚」における「倫理観」に対応したものである。	16
合計		100

※ 1 試作問題『公共，政治・経済』第 1 問及び『地理総合，歴史総合，公共』の「公共」第 1 問と共通

※ 2 試作問題『公共，政治・経済』第 2 問及び『地理総合，歴史総合，公共』の「公共」第 4 問と共通

(注) 上記の出題内容は，試作問題『公共，倫理』のものであります。令和 7 年度大学入学共通テスト『公共，倫理』の出題内容は，本試作問題を踏まえ，今後も引き続き検討します。

## (2) 各問題の概要

### 『公共、倫理』第1問

※試作問題『公共、政治・経済』第1問及び『地理総合、歴史総合、公共』の「公共」第1問と共通

第1問は、高等学校学習指導要領「公共」の「A 公共の扉」の「人間と社会の多様性と共通性などに着目して」をテーマとしつつ、「B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち」のア(ア)の「主として法に関わる事項」に対応したものである。

東京オリンピック・パラリンピックのテーマの一つである「多様性」と、多様性の中にある共通性について生徒が会話するという場面設定で、生徒の発言と関係の深い考え方の考察、多様な人々と共生するために必要な配慮についての理解や、SDGsの実現に向けた主体的な活動の在り方及び社会制度及びルール根底にある法について理解しているかを問う。

#### ■各設問の概要

問1	人間の多様性と共通性に関する生徒の会話文を読み取り、問題に示されたどの思想が行為の善さを動機に求める考え方の思想(カントによる人間の尊厳)にあてはまるかについて考察できるかを問う。
問2	1970年代の写真と現在の様子を比べた生徒の気付きを読み取り、多様性の尊重に関わる改善・工夫とそれらに関連する法令との関係について理解しているかを問う。
問3	持続可能な社会の形成に関するイベントの概要を読み取り、そこで取り上げられた取組と関係のあるSDGsの目標について理解しているかを問う。
問4	成年年齢や契約について、現行の民法に規定されている内容について理解しているかを問う。

## 『公共、倫理』第2問

※試作問題『公共、政治・経済』第2問及び『地理総合、歴史総合、公共』の「公共」第4問と共通

第2問は、主に高等学校学習指導要領「公共」の「A 公共の扉」、「B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち」及び「C 持続可能な社会づくりの主体となる私たち」に対応したものである。

人口減少社会の在り方を探究するという場面設定で、人口減少社会が抱える問題を資料から読み取り、その対策として児童手当の支給方法の妥当性を先人の考え方から考察するとともに、人口減少が社会に与える影響と対策について、持続可能な地域、国家、社会及び国際社会づくりに向けた役割を担う自立した主体となることに向けて考察、構想できるかを問う。

### ■各設問の概要

問1	会話文を読み取り、児童手当の支給方法の妥当性についてアリストテレスの正義論を用いて考察できるかを問う。
問2	散布図を読み取り、そこからどのようなことを主張することができるのかについて考察できるかを問う。
問3	グラフから各国の高齢化率と社会支出の対GDP比との変化を読み取り、今後の日本における社会保障の在り方について構想できるかを問う。
問4	人口減少及び高齢化が進行する地域において、高齢者がよりよい生活を送るための施策の在り方について、様々な視点や立場から構想できるかを問う。

## 『公共，倫理』第3問

第3問は、主に高等学校学習指導要領「倫理」の「A 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方」の「(1)人間としての在り方生き方の自覚」(特にア(イ)「人生観」，(エ)「世界観」)に対応したものである。

3名の生徒が、科学の進展の中で人間の思想がどのような変遷を経てきたかについて、古今東西の先哲の思想に関する原典にも当たりながら思考し、思索を深め、説明したり対話したりする場面設定で、古今東西の様々な人生観や世界観について理解しているかを問うとともに、それらの知識や、原典の日本語訳、会話文、投稿記事、メモなどから読み取った内容を手掛かりとして、人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察できるかを問う。

### ■各設問の概要

問1	会話文において言及されている「近代科学を支えた自然観」が「機械論的自然観」であることを読み取れるか、そして「機械論的自然観」がどのような自然観か、「目的論的自然観」とどのように異なるかについて理解しているかを問う。
問2	社会契約説がどのような理論か、社会契約説がどのような背景で発生しどのような役割を果たしたか、社会契約説に対してどのような考え方が存在したかについて理解しているかを問う。
問3	ヘーゲルが唱えた「人倫」や「自由」といった概念を理解しているか、そしてそれらの概念を会話文に出てきた「幸福」や「権利」を科学によって定義したり根拠づけたりするという着想と対比して考えることができるかを問う。
問4	古代ギリシャにおける世界の根源（アルケー）に関する諸説を中心に、宗教的・神話的世界観とは異なる古代ギリシャの学問的・哲学的世界観を理解しているかを問う。
問5	ギリシャ地域以外の諸地域（インド・中国・中東）における古代の多様な宗教的・哲学的世界観を理解しているかを問う。
問6	資料から仏教における死の超越についての教えを読み取り、それを古代のギリシャ・中国・中東の宗教家や思想家の死をめぐる思惟と比較できるかを問う。
問7	資料（ニーチェの遺稿）から読み取った内容と、ニヒリズムに関する既存の知識とを結び付け、科学時代にニヒリズムが発生する具体的なプロセスを考察できるかを問う。
問8	20世紀の思想家ハイデッガーやヤスパースの思想を理解し、古代のアウグスティヌスやモンテーニュの思想と比較できるかを問う。
問9	場面1～3の会話文、投稿記事、メモ、資料を読み取り、第3問全体で問題となっていることの趣旨を適切に抽出し、概念化できるかを問う。

## 『公共，倫理』第4問

第4問は、主に高等学校学習指導要領「倫理」の「A 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方」の「(2)国際社会に生きる日本人としての自覚」に対応したものである。

3名の生徒と先生が、「倫理」の授業で学んだ日本の先哲の思想について対話し、思索を深めている場面設定で、日本の先哲の思想や、日本人に見られる人間観や宗教観等を理解しているかを問うとともに、それらの知識や、原典、会話文、ノートなどから読み取った内容を手掛かりとして、日本人としての在り方生き方について多面的・多角的に考察できるかを問う。

### ■各設問の概要

問1	伊藤仁斎の孔子観を通して、伊藤仁斎の儒学思想について理解しているかを問うとともに、源流思想と日本思想のつながりや、古代儒学、朱子学、古学の本質について理解しているかを問う。
問2	鎌倉時代の日本仏教や、唐の善導から日本の源信、法然へという思想史の流れについて理解しているかを、絵画資料等を用いながら問う。
問3	武士道書「葉隠」について、山鹿素行の士道と対比して理解しているかを問う。
問4	原典資料から実情論、漢心批判、日本の物語礼賛といった思想内容を読み取り、それを本居宣長の「もののあはれ」論に関する知識と結び付けることができるかを問う。
問5	和辻哲郎の原典資料を読み取り、人間存在の全体性と個人性の動的運動という和辻倫理学の基本原則に関する知識と結び付け、和辻哲郎の論じる倫理の変遷について考察できるかを問う。

## 『公共、倫理』第5問

第5問は、主に高等学校学習指導要領「倫理」の「B 現代の諸課題と倫理」の「(1)自然や科学技術に関わる諸課題と倫理」及び「A 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方」の「(1)人間としての在り方生き方の自覚」(特にア(ア)「人間の心の在り方」)に対応したものである。

3名の生徒が、「動物の幸せ」について発表するための準備をしている場面設定で、様々な人間の心の在り方について理解しているかを問うとともに、生命、自然などと人間との関わりについての倫理的課題の解決に向けて、倫理に関する概念や理論などを手掛かりとして多面的・多角的に考察できるかを問う。

### ■各設問の概要

問1	与えられた行政資料から「通常の行動様式の発言」という概念が独自の意味付けがなされている点などを読み取り、動物への配慮の上で重要な視点であるアニマルウェルフェアの考え方や、積極的自由やカントの自由の概念などの既存の議論と対応付けて考察できるかを問う。
問2	地球温暖化対策について、京都議定書などの基礎的事実関係について理解しているとともに、共有地の悲劇、世代間倫理などの環境倫理学の概念について理解しているかを問う。
問3	インフォームドコンセントの根底にある人格尊重の考え方について資料から読み取ったことと、インフォームドコンセントに関する知識を結び付けて、実際の研究場面で遭遇することについて考察させ、それが「人を対象とした研究倫理」の在り方として適切か否かを判断できるかを問う。
問4	「社会的自我」「論理的思考」「人間関係」「道徳性」の四つの心の発達の特徴について、それぞれの特徴を見出した(あるいは説を唱えた)先駆的研究者(心理学者)の説・理論について理解しているかを問う。
問5	動物の幸福とは何かという問題についての様々な立場があることを理解した上で、自分がどの立場に立つのか、その主張を行う上でどのような根拠の提示が必要であるかについて説明、論述するために、会話文と資料を読み取り、論拠を考察できるかを問う。

## 『公共、倫理』第6問

第6問は、主に高等学校学習指導要領「倫理」の「B 現代の諸課題と倫理」の「(2)社会と文化に関わる諸課題と倫理」及び「A 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方」の「(1)人間としての在り方生き方の自覚」(特にア(ウ)「倫理観」)に対応したものである。

3名の生徒が、ジェンダーの問題に関心を抱き、「男女が共同して参画するコミュニティ」をテーマに探究する学習を行う場面設定で、様々な倫理観について理解しているかを問うとともに、様々な他者との協働、共生に向けて、福祉などについての倫理的課題の解決に向けて、倫理に関する概念や理論などを手掛かりとして多面的・多角的に考察、構想できるかを問う。

### ■各設問の概要

問1	ミルの原典資料から女性解放論の内容を読み取り、その内容をミルの女性解放論や他者危害の原則に関する既存の知識と結び付けて、両者の概念的関係について考察できるかを問う。
問2	先生の解説から読み取った内容を踏まえ、倫理的問題について結論を導き出す論証とはどのようなものであるのかについて考察できるかを問う。
問3	ボーヴォワールの問題提起に関する既存の知識を踏まえ、ボーヴォワールが女性の政治参画についてどのように主張したかについて推察できるかを問う。
問4	都市部から農村部への人口還流という課題について、選択肢で示された異なる3つの考え方を、ハーバーマス、セン、ノージックの理論と結び付けて考察できるかを問う。
問5	階層型となっている地縁に基づくコミュニティの在り方の見直しという課題について、ハーバーマス、セン、ノージックの理論と、資料から読み取った内容を結び付け、資料に示されている関係人口を含めた誰もが暮らしやすい共通の倫理観に基づく新しいコミュニティの在り方について構想できるかを問う。

## 2. 試作問題『公共，政治・経済』の概要

### (1) 問題構成

試作問題『公共，政治・経済』は，以下の構成で作成している。

問題番号	出題内容（平成 30 年告示高等学校学習指導要領との対応）	配点
第 1 問 ※ 1	【公共】 「A 公共の扉」の「(1)公共的な空間を作る私たち」及び「B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち」のうち「主として法に関わる事項」に対応したものである。	13
第 2 問 ※ 2	【公共】 「A 公共の扉」，「B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち」及び「C 持続可能な社会づくりの主体となる私たち」に対応したものである。	12
第 3 問	【政治・経済】 「A 現代日本における政治・経済の諸課題」の「(1)現代日本の政治・経済」及び「B グローバル化する国際社会の諸課題」の「(1)現代の国際政治・経済」における，主に政治分野に対応したものである。	18
第 4 問	【政治・経済】 「A 現代日本における政治・経済の諸課題」の「(1)現代日本の政治・経済」及び「B グローバル化する国際社会の諸課題」の「(1)現代の国際政治・経済」における，主に経済分野に対応したものである。	18
第 5 問	【政治・経済】 「A 現代日本における政治・経済の諸課題」の「(2)現代日本における政治・経済の諸課題の探究」に対応したものであるが，「B グローバル化する国際社会の諸課題」の「(2)グローバル化する国際社会の諸課題の探究」とも密接に関連している。	19
第 6 問	【政治・経済】 「B グローバル化する国際社会の諸課題」の「(2)グローバル化する国際社会の諸課題の探究」に対応したものであるが，「A 現代日本における政治・経済の諸課題」の「(2)現代日本における政治・経済の諸課題の探究」とも密接に関連している。	20
	合計	100

※ 1 試作問題『公共，倫理』第 1 問及び『地理総合，歴史総合，公共』の「公共」第 1 問と共通

※ 2 試作問題『公共，倫理』第 2 問及び『地理総合，歴史総合，公共』の「公共」第 4 問と共通

(注) 上記の出題内容は，試作問題『公共，政治・経済』のものであります。令和 7 年度大学入学共通テスト『公共，政治・経済』の出題内容は，本試作問題を踏まえ，今後も引き続き検討します。

## (2) 各問題の概要

### 『公共，政治・経済』第1問

※試作問題『公共，倫理』第1問及び『地理総合，歴史総合，公共』の「公共」第1問と共通

第1問は，高等学校学習指導要領「公共」の「A 公共の扉」の「人間と社会の多様性と共通性などに着目して」をテーマとしつつ，「B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち」のア(ア)の「主として法に関わる事項」に対応したものである。

東京オリンピック・パラリンピックのテーマの一つである「多様性」と，多様性の中にある共通性について生徒が会話するという場面設定で，生徒の発言と関係の深い考え方の考察，多様な人々と共生するために必要な配慮についての理解や，SDGsの実現に向けた主体的な活動の在り方及び社会制度及びルール根底にある法について理解しているかを問う。

#### ■各設問の概要

問1	人間の多様性と共通性に関する生徒の会話文を読み取り，問題に示されたどの思想が行為の善さを動機に求める考え方の思想(カントによる人間の尊厳)にあてはまるかについて考察できるかを問う。
問2	1970年代の写真と現在の様子を比べた生徒の気づきを読み取り，多様性の尊重に関わる改善・工夫とそれらに関連する法令との関係について理解しているかを問う。
問3	持続可能な社会の形成に関するイベントの概要を読み取り，そこで取り上げられた取組と関係のあるSDGsの目標について理解しているかを問う。
問4	成年年齢や契約について，現行の民法に規定されている内容について理解しているかを問う。

## 『公共，政治・経済』第2問

※試作問題『公共，倫理』第2問及び『地理総合，歴史総合，公共』の「公共」第4問と共通

第2問は，主に高等学校学習指導要領「公共」の「A 公共の扉」，「B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち」及び「C 持続可能な社会づくりの主体となる私たち」に対応したものである。

人口減少社会の在り方を探究するという場面設定で，人口減少社会が抱える問題を資料から読み取り，その対策として児童手当の支給方法の妥当性を先人の考え方から考察するとともに，人口減少が社会に与える影響と対策について，持続可能な地域，国家，社会及び国際社会づくりに向けた役割を担う自立した主体となることに向けて，考察，構想できるかを問う。

### ■各設問の概要

問1	会話文を読み取り，児童手当の支給方法の妥当性についてアリストテレスの正義論を用いて考察できるかを問う。
問2	散布図を読み取り，そこからどのようなことを主張することができるのかについて考察できるかを問う。
問3	グラフから各国の高齢化率と社会支出の対GDP比との変化を読み取り，今後の日本における社会保障の在り方について構想できるかを問う。
問4	人口減少及び高齢化が進行する地域において，高齢者がよりよい生活を送るための施策の在り方について，様々な視点や立場から構想できるかを問う。

### 『公共、政治・経済』第3問

第3問は、高等学校学習指導要領「政治・経済」の「A 現代日本における政治・経済の諸課題」の「(1)現代日本の政治・経済」及び「B グローバル化する国際社会の諸課題」の「(1)現代の国際政治・経済」における、主に政治分野に対応したものである。

場面設定は、生徒Xと生徒Yが、「政治・経済」の授業における、「不当な格差のない、平等な社会」というテーマに関する対話を通して、それぞれ関心をもった事柄について資料等を調べ、考察を深める学習過程である。具体的には、女性差別撤廃に向けた法改正の取組、主要な人権条約と日本の批准状況、国政選挙における一票の格差の問題、国連安全保障理事会における常任理事国の拒否権行使、最高裁判所の違憲審査権の行使に関する裁判所法の規定、「人間の安全保障」の理念を取り上げている。

日本国憲法の基本原則を現在の法や政治に関わる制度・仕組みと関連付け、現代日本及びグローバル化する国際社会において生じている諸問題の原因を追究したり、その解決策の構想に向けて考察したりできるかを確認する設問である。

#### ■各設問の概要

問1	日本がどのように女性差別の解消に取り組んできたかを考察する際に必要な、女子差別撤廃条約の締結以降の国内法の制定・改廃の経過を理解しているかを問う。
問2	人権条約の採択の流れと日本の批准状況や現行制度を踏まえて、国際社会における人権保障の広がりや日本の国内状況とを関連付けて理解しているかを問う。
問3	衆議院議員総選挙における「一票の格差」の変遷の資料の読み取りを通じて、1980年以降の日本の選挙制度改革の変遷を理解しているかを問う。
問4	国連安全保障理事会での拒否権行使の状況に関する資料の読み取りを通じて、拒否権行使の理由を東西冷戦の影響や結果と関連付けて考察できるかを問う。
問5	日本の司法権に関する知識を踏まえて、裁判所法の条文から最高裁判所の違憲審査権の行使について読み取ることができるかを問う。
問6	「人間の安全保障」の概念の理解を踏まえて、日本国憲法の前文に掲げられている理念について考察できるかを問う。

## 『公共、政治・経済』第4問

第4問は、高等学校学習指導要領「政治・経済」の「A 現代日本における政治・経済の諸課題」の「(1)現代日本の政治・経済」および「B グローバル化する国際社会の諸課題」の「(1)現代の国際政治・経済」における、主に経済分野に対応したものである。

場面設定は、生徒Xと生徒Yが、「政治・経済」の授業で学習した内容を踏まえた、日本の雇用慣行に関する対話を通して、それぞれ関心をもった事柄について資料等を調べ、考察を深める学習過程である。具体的には、第二次世界大戦後の日本経済の歩み、日本、イギリス、スウェーデン、ドイツの4か国の雇用慣行の比較、年金の仕組み、経済学説と現代的な諸論点との対応関係、現在の雇用をめぐる状況、技術進歩が均衡賃金に与える効果を取り上げている。

現代日本及びグローバル化する国際社会における経済の仕組み・システムの特徴を考察したり、それに関わる諸問題の解決策について構想したりできるかを問う設問である。

### ■各設問の概要

問1	物価や雇用に関する資料の読み取りを通じて、第二次世界大戦後の日本経済の歩みと代表的な経済指標とを関連付けて考察できるかを問う。
問2	雇用慣行に関する資料の読み取りを通じて、日本型雇用慣行の特徴を他国と比較しながら考察できるかを問う。
問3	年金制度の基本的な仕組みを、公正なシステムの維持やそれへの転換という将来的な構想を踏まえて理解しているかを問う。
問4	代表的な経済学者の資本主義経済についての主張と、現代的な諸論点とを関連付けて理解しているかを問う。
問5	現在の雇用問題の解決に向けて構想する際に必要な、労働者が置かれている状況やそれに関する基本的な論点を理解しているかを問う。
問6	資源配分システムとしての財市場のメカニズムの理解を踏まえて、それを労働市場に応用して考察できるかを問う。

## 『公共、政治・経済』第5問

第5問は、主に高等学校学習指導要領「政治・経済」の「A 現代日本における政治・経済の諸課題」の「(2)現代日本における政治・経済の諸課題の探究」に対応したものであるが、「B グローバル化する国際社会の諸課題」の「(2)グローバル化する国際社会の諸課題の探究」とも密接に関連している。

場面設定は、「政治・経済」の授業で、「現代社会で起きている変化と、それが私たちの生活にもたらす影響」をテーマに、クラス内でいくつかのグループに分かれて課題を探究し、多面的・多角的に考察、構想する学習過程である。具体的には、日本経済の変化の歴史、近年における日本の産業ごとの変化、情報通信機器の利用実態、インターネットをめぐる日本の今日の状況、インターネット上に誹謗中傷やフェイクニュースなどの違法・有害情報が氾濫しているという状況についての対策、インターネット時代の世論を取り上げている。

現代日本における政治・経済の諸課題を探究する活動を通して、資料から適切に情報を読み取る技能や、他者と協働して問題解決をしたりするために必要な論理的思考が身に付いているかを確認する設問である。

### ■各設問の概要

問1	現在の日本社会の状況を、20世紀後半からの経済の変化と関連付けて捉える際に必要な基本的概念を理解しているかを問う。
問2	表で示されたデータの読み取りを通じて、日本の経済構造の変化が各産業に与えた影響について考察できるかを問う。
問3	現代社会における情報化の実態を踏まえて、年齢階層間で存在するインターネットの利用実態の違いに関する資料を読み取ることができるかを問う。
問4	マスメディアやインターネットをめぐる日本における法の整備の状況を、基本的人権の保障の原則と関連付けて考察できるかを問う。
問5	インターネットの問題として挙げられる誹謗中傷やフェイクニュースの氾濫に対して、どのような対策が必要かについて、その結果や影響を踏まえて構想できるかを問う。
問6	社会的事象についての意見文を基に、マスメディアやインターネットが世論の形成に与える影響や、その影響がマスメディアとインターネットとの間で違うことによって生じる問題の解決とその結果について考察できるかを問う。

## 『公共、政治・経済』第6問

第6問は、主に高等学校学習指導要領「政治・経済」の「B グローバル化する国際社会の諸課題」の「(2)グローバル化する国際社会の諸課題の探究」に対応したものであるが、「A 現代日本における政治・経済の諸課題」の「(2)現代日本における政治・経済の諸課題の探究」とも密接に関連している。

場面設定は、生徒X、生徒Y、生徒Zが、「政治・経済」の授業で、「ヨーロッパにおける人の移動と、それが日本に問いかけていること」をテーマにして、研究発表と討論を行うため、課題を探究し、多面的・多角的に考察、構想する学習過程である。具体的には、欧州連合（EU）加盟国の人口に関する資料やEU加盟国の法定最低月額賃金を示す資料、イギリスのEU離脱の是非を問う国民投票の結果と世論調査にみる支持理由を示す資料、シリア難民に関する資料、主な先進国の難民認定率と難民認定数を示す資料を用いて考察を深めていき、最後は日本での移民・難民の期限を定めない受け入れについて、X、Y、Zが討論し、提言を行う場面となっている。

グローバル化する国際社会の諸課題を探究する活動を通して、人の移動に関わって生じている問題の解決策を、人間社会の普遍的な価値に基づいて構想するために必要な思考や判断ができるかを確認する設問である。

### ■各設問の概要

問1	複数の資料の読み取りを通じて、EU域内の人の移動について国際的な社会状況の変化と関連付けて理解しているかを問う。
問2	複数の資料の読み取りを通じて、EU域内の人口移動に関する事象を分析しながら国を越えた人の移動の要因について考察できるかを問う。
問3	イギリスでの国民投票に関する資料の読み取りを通じて、人の移動を通じたグローバル化と国家主権の間の緊張関係の理解を基にイギリスの政策の意味について考察できるかを問う。
問4	シリア難民に関する資料の読み取りを通じて、難民問題が起こる要因について考察できるかを問う。
問5	主な先進国における難民認定数と難民認定率に関する資料の読み取りを通じて、人の移動をめぐる政治的・経済的な事象とそれに対する政策との関係について考察できるかを問う。
問6	ヨーロッパにおける人の移動に関する政治的・経済的な事象を踏まえて、移民・難民受け入れにおける日本の国際貢献の在り方や日本における社会統合の問題の解決方法を構想できるかを問う。

### 3. 試作問題『地理総合，歴史総合，公共』の概要

#### (1) 問題構成

試作問題『地理総合，歴史総合，公共』は，以下の構成で作成している。

##### 「地理総合」

問題番号	出題内容（平成30年告示高等学校学習指導要領との対応）	配点
第1問 ※1	【地理総合】 「B 国際理解と国際協力」の「(2)地球的課題と国際協力」における，主に難民をめぐる現状や課題に対応したものである。	12
第2問 ※2	【地理総合】 「C 持続可能な地域づくりと私たち」の「(1)自然環境と防災」における，主に日本の自然環境と防災に対応したものである。	13
第3問	【地理総合】 「B 国際理解と国際協力」の「(1)生活文化の多様性と国際理解」における，主に世界の気候や産業と人々の生活との関わりに対応したものである。	13
第4問	【地理総合】 「C 持続可能な地域づくりと私たち」の「(2)生活圏の調査と地域の展望」における，主に地理的な課題解決に求められる取組に対応したものである。	12
	合計	50

※1 試作問題『地理総合，地理探究』の第1問と共通

※2 試作問題『地理総合，地理探究』の第2問と共通

##### 「歴史総合」

問題番号	出題内容（平成30年告示高等学校学習指導要領との対応）	配点
第1問 ※3	【歴史総合】 「B 近代化と私たち」の「(2)結び付く世界と日本の開国」「(4)近代化と現代的な諸課題」，「C 国際秩序の変化や大衆化と私たち」の「(2)第一次世界大戦と大衆社会」「(3)経済危機と第二次世界大戦」「(4)国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題」及び「D グローバル化と私たち」の「(2)冷戦と世界経済」に対応したものである。	25
第2問 ※4	【歴史総合】 「B 近代化と私たち」の「(2)結び付く世界と日本の開国」「(3)国民国家と明治維新」，「C 国際秩序の変化や大衆化と私たち」の「(2)第一次世界大戦と大衆社会」「(4)国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題」及び「D グローバル化と私たち」の「(1)グローバル化への問い」「(2)冷戦と世界経済」「(3)世界秩序の変容と日本」に対応したものである。	25
	合計	50

※3 試作問題『歴史総合，日本史探究』の第1問と共通

※4 試作問題『歴史総合，世界史探究』の第1問と共通

「公共」

問題番号	出題内容（平成 30 年告示高等学校学習指導要領との対応）	配点
第 1 問 ※ 5	【公共】 「A 公共の扉」の「(1)公共的な空間を作る私たち」及び「B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち」のうち「主として法に関わる事項」に対応したものである。	13
第 2 問	【公共】 「A 公共の扉」の「(3)公共的な空間における基本的原理」, 「B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち」のうち「主として政治に関わる事項」, 「主として経済に関わる事項」に対応したものである。	12
第 3 問	【公共】 「A 公共の扉」の「(2)公共的な空間における人間としての在り方生き方」, 「B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち」のうち「主として経済に関わる事項」に対応したものである。	13
第 4 問 ※ 6	【公共】 「A 公共の扉」, 「B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち」及び「C 持続可能な社会づくりの主体となる私たち」に対応したものである。	12
	合計	50

※ 5 試作問題『公共, 倫理』第 1 問及び『公共, 政治・経済』の第 1 問と共通

※ 6 試作問題『公共, 倫理』第 2 問及び『公共, 政治・経済』の第 2 問と共通

(注) 上記の出題内容は, 試作問題『地理総合, 歴史総合, 公共』のものであります。令和 7 年度大学入学共通テスト『地理総合, 歴史総合, 公共』の出題内容は, 本試作問題を踏まえ, 今後も引き続き検討します。

## (2) 各問題の概要（地理総合）

（省 略）

※ 試作問題『地理総合，歴史総合，公共』の「地理総合」の各問題の概要は，「試作問題「地理歴史」の概要」を御覧ください。

## (3) 各問題の概要（歴史総合）

（省 略）

※ 試作問題『地理総合，歴史総合，公共』の「歴史総合」の各問題の概要は，「試作問題「地理歴史」の概要」を御覧ください。

## (4) 各問題の概要（公共）

### 『地理総合，歴史総合，公共』の「公共」第1問

※試作問題『公共，倫理』第1問及び『公共，政治・経済』第1問と共通

第1問は，高等学校学習指導要領「公共」の「A 公共の扉」の「人間と社会の多様性と共通性などに着目して」をテーマとしつつ，「B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち」のア(ア)の「主として法に関わる事項」に対応したものである。

東京オリンピック・パラリンピックのテーマの一つである「多様性」と，多様性の中にある共通性について生徒が会話するという場面設定で，生徒の発言と関係の深い考え方の考察，多様な人々と共生するために必要な配慮についての理解や，SDGsの実現に向けた主体的な活動の在り方及び社会制度及びルール根底にある法について理解しているかを問う。

#### ■各設問の概要

問1	人間の多様性と共通性に関する生徒の会話文を読み取り，問題に示されたどの思想が行為の善さを動機に求める考え方の思想(カントによる人間の尊厳)にあてはまるかについて考察できるかを問う。
問2	1970年代の写真と現在の様子を比べた生徒の気づきを読み取り，多様性の尊重に関わる改善・工夫とそれらに関連する法令との関係について理解しているかを問う。
問3	持続可能な社会の形成に関するイベントの概要を読み取り，そこで取り上げられた取組と関係のあるSDGsの目標について理解しているかを問う。
問4	成年年齢や契約について，現行の民法に規定されている内容について理解しているかを問う。

## 『地理総合，歴史総合，公共』の「公共」第2問

第2問は，高等学校学習指導要領「公共」の「A 公共の扉」の「(3)公共的な空間における基本的原理」，「B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち（以下「大項目B」という。）」のア(イ)の「主として政治に関わる事項」，大項目Bのア(ウ)の「主として経済に関わる事項」，及び大項目Bのイの「思考力，判断力，表現力等」に対応したものである。

生徒が政治に関する学習を行い，最後に模擬選挙の振り返りを行うという場面設定で，民主主義の根底にある考え方や政党の役割，行政や司法と国民との関係についての理解と，模擬選挙における生徒の投票行動を考察(理論的に分析)できるかを問う。

### ■各設問の概要

問1	資料と図を読み取り，日本の政治の仕組みは直接民主主義を取り入れながらも，原則は間接民主主義であること，その根底に社会契約説や功利主義があることについて理解しているかを問う。
問2	会話を読み取り，国民が行政や司法に対してどのような形で参加・関与することができるのかについて理解しているかを問う。
問3	民主政治における政党と国民及び政府との関係について理解しているかを問う。
問4	「有権者の投票行動を説明する理論的観点」を読み取って理解し，模擬選挙でそれぞれの生徒の投票の根拠が，どの理論的観点に当てはまるかについて考察できるかを問う。

### 『地理総合，歴史総合，公共』の「公共」第3問

第3問は，高等学校学習指導要領「公共」の「A 公共の扉」の「(2)公共的な空間における人間としての在り方生き方」の「行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と，行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方」，「B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち（以下「大項目B」という。）」のア(ウ)の「主として経済に関わる事項」，及び大項目Bのイの「思考力，判断力，表現力等」に対応したものである。

生徒が日常の生活で経済的な事象に接する場面などを設定し，個人と社会全体の経済活動との関連についての考察，経済政策の理解，貨幣の発行の仕組みについて考察できるかを問う。

#### ■各設問の概要

問1	会話文からロードプライシングの考え方を読み取って理解し，この施策の背景にある考え方を帰結主義と非帰結主義に基づいて考察できるかを問う。
問2	問題文で示された「合成の誤謬」という考え方を理解し，提示した経済活動が「合成の誤謬」にあてはまるかについて考察できるかを問う。
問3	国民所得の減少をグラフから読み取り，このような経済状況におけるポリシー・ミックスの手続きについて理解しているか問う。
問4	会話文から今日の新たな金融の動きとして登場した暗号資産（仮想通貨）と，ハイエクの考え方を読み取って理解し，通貨発行機関の役割について考察できるかを問う。

**『地理総合，歴史総合，公共』の「公共」第4問**

※試作問題『公共，倫理』第2問及び試作問題『公共，政治・経済』第2問と共通

第4問は，主に高等学校学習指導要領「公共」の「A 公共の扉」，「B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち」及び「C 持続可能な社会づくりの主体となる私たち」に対応したものである。

人口減少社会の在り方を探究するという場面設定で，人口減少社会が抱える問題を資料から読み取り，その対策として児童手当の支給方法の妥当性を先人の考え方から考察するとともに，人口減少が社会に与える影響と対策について，持続可能な地域，国家，社会及び国際社会づくりに向けた役割を担う自立した主体となることに向けて，考察，構想できるかを問う。

**■各設問の概要**

問1	会話文を読み取り，児童手当の支給方法の妥当性についてアリストテレスの正義論を用いて考察できるかを問う。
問2	散布図を読み取り，そこからどのようなことを主張することができるのかについて考察できるかを問う。
問3	グラフから各国の高齢化率と社会支出の対GDP比との変化を読み取り，今後の日本における社会保障の在り方について構想できるかを問う。
問4	人口減少及び高齢化が進行する地域において，高齢者がよりよい生活を送るための施策の在り方について，様々な視点や立場から構想できるかを問う。